



日本共産党 区議会議員

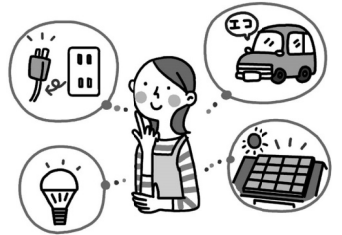
石田 ちひろ

日本共産党品川区議控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2011年5月22日
ちひろニュースNo.16

東日本 大震災

復興と節電



節電によって夜になると真っ暗に…今は生き茂った草木も刈られ、電気も点きました

東日本大震災から2ヶ月が経過し、地震での災害、原発の人災に多くの人の暮らしが壊されています。被災された方々や、東電の従業員のみなさんは懸命な復興・修繕に全力をあげています。

しかし品川に住む私たちも、原発の事故によって暮らしの不安が広がっています。

節電の不安は相談を！

福島原発の収束が、一号炉のメルトダウンなどで、いまだ収束を見せない中、政府は、静岡県・浜岡原発の運行停止を決定しました。

「危険な原発は停止させて、あとは皆さん節電しましょう！」とでも

言わんばかり。代わりになるのエネルギーの提案もないまま“節電”では一方的過ぎではないでしょうか。

昨年夏の猛暑で、多くの高齢者が熱中症で倒れました。これから暑い季節へと移るも、不安が広がるのは明らかです。節電は環境問題にもつながるので、悪いことではありません。しかし節電によって、私たちの暮らしに支障がでるのは困ります。

南品川5丁目の細い路地では、節電のため街灯が一個おきに消される状況に。草木も生い茂り、人通りも少なく、その路地に入ると真っ暗で先が見えず、一瞬足が止まるほどです。震災前、電気が点いていたのにも関わらず、その道で少女が突然首をしめられるという事件も起きました。そこに節電となると怖くて歩けないと、住民の方から相談が



ありました。

「危険な道は電気を点けてほしい」と住民の方が直接区に訴えま



したが、なかなか点きません。私からも「『危険だから電気を点けてほしい』という声に答えず、再び事件が起きれば、品川区の責任が問われます。」と訴えましました。そしてやっと電気は点けられ、生い茂った草木も刈り取られました。区が把握しきれない危険な場所があれば、まずは相談してください！

東電と政府はきちんと責任をとって！

日本共産党は、世界で起きてきた津波や、日本での過去の震災など分析し、各地にある原発の危険性を指摘し続けてきました。

政府は、「日本の原発は、世界の原発の中で、安全性は優れている。」と言いつつ、「メルtdownなことが起きてもせなご」とまで豪語してきました。

原子炉の多くが、建設から30〜40年たつており老朽化しています。健全性の調査や、もしもの時の対策も行わないまま、3月11日、最悪の事態が起きてしまいました。いまだ、きちんとした情報公開もなく、私たちは不信感を強めるばかりです。原発に対する、震災前と震災後の東電と政府の対応は、保守的で無責任なものと云えるのではないのでしょうか。

私たちに節電や、復興の名での増税を押しつけるのではなく、きちんと電力確保を提案し進め、お金は東電や大企業が溜め込んでいる利益をはきだす、これらを進め、責任はきちんと取ってもらおう！

日本共産党は、暮らしと安全を守るために全力をあげます。

これから更なる節電が呼びかけられています。節電によって、お困りになることがあれば、いつでも相談ください！



日本共産党品川地区委員会

無料法律相談

7月 5日(火) 18:00~

石田ちひろ事務所にて

03-5462-2133